

患者さんへ

進行・再発非小細胞肺癌における化学免疫療法後の最適な二次化学療法を検討する後向き観察研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開し、拒否できる機会を保障することが必要とされています。

1. 研究の対象

2015年1月～2026年3月に当院で化学免疫療法を受けられた進行・再発非小細胞肺癌の患者さん

2. 研究目的・方法

1次治療として化学免疫療法（抗がん剤と免疫療法の併用治療）を受けた進行・再発非小細胞肺癌の患者さんを対象として、2次治療（2回目の治療）の有効性と安全性を評価することを目的とし、診療録等の情報を用いて行います。現在、進行・再発非小細胞肺癌の2次治療については複数の治療薬が承認されていますが、化学免疫療法後の最適な治療法の選択について参考となる研究データが不足しています。本研究により、化学免疫療法後の最適な治療戦略及び治療薬の組み合わせを検討する知見が得られると考えられます。

研究の期間：施設院長許可後（2026年5月予定）～2028年3月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、同意の撤回またはご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、原疾患の状態（ステージ、組織型等）、既往症、合併症、内服薬、血液検査、尿検査、画像所見、非小細胞肺癌の治療経過 等

5. 個人情報の取扱い

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

和泉市立総合医療センター腫瘍内科 医員 黒崎 隆(研究責任者)

住所:〒594-0073 大阪府和泉市和気町4丁目5-1

電話:0725-41-1331

作成年月日：2026年04月24日(第1.0版)